長浜市男女共同参画を進めるパートナーシップ委員会 要点録 (令和4年度 第1回)

開催日時 : 令和4年6月1日(水)午後2時30分～午後4時00分

開催場所 : 市役所本庁舎 3階 3Bコミュニティルーム・オンライン

出席委員 : 京楽委員、山本委員、川畑委員、伊藤委員、奥川委員、北川委員、山岡委員、磯崎委員、森川委員、廣部委員、平井委員、石倉委員、本田委員

欠席委員 : なし

事務局 : 市民協働部次長、人権施策推進課職員3人

議 事 : 議事第1号 委員長・副委員長の選出

議事第2号 長浜市男女共同参画行動計画の進捗状況について(報告)

議事第3号 長浜市男女共同参画行動計画の改定について

1. 開 会

2. 委員の委嘱

委嘱状の交付

3. あいさつ

市民協働部次長あいさつ・事務局自己紹介・委員自己紹介

4. 議 事

(1) 議事第1号 委員長・副委員長の選出について

委員長……京楽委員 副委員長……伊藤委員 にて承認。

(2) 議事第2号 長浜市男女共同参画行動計画の進捗状況について(報告)

- ・様式1号(長浜市職員の人権・男女共同参画に関する取組状況調査)
- ・様式2号(長浜市人権施策・推進基本計画 具体的な取組の状況)
- ・長浜市男女共同参画行動計画(成果指標)数値目標管理シート
について事務局から説明。

【数値目標管理シートについて質疑・意見交換】

(委員長)

29 ページ 長浜市男女共同参画行動計画(成果指標)数値目標管理シート 目標2の「地域社会で男女の地位が平等であると考える人の割合」が減ったことについて、どのように分析しているのでしょうか。

(事務局)

数値が減ったことに対して、逆に男女共同参画の意識が高まってきたことから、「今の状況では男女平等とは言えない。このままだと課題があるな。」ということに市民が気づき、数値に現れてこういった結果になったのではないかと捉えております。

(委員長)

そうであるならば、さらに例えば講座を開くなどで「平等になった」ということを感じてもらえるような施策に繋げていただければと思います。

続いて、待機児童数について目標数値では「0人」が目標としていたが、増えています。ぜひ、民間との連携等々を含めてご検討いただければと思います。

(委員)

同じく、目標2の「地域社会で男女の地位が平等であると考える人の割合」について長浜市男女共同参画行動計画概要版の資料を見ても、割合が平成24年は35%程度、平成29年で24%。さらに令和3年には16%というようにどんどん下がっています。事務局が言ったように非常に敏感になってきたように捉えられるが、果たしてそれだけなのか。この下がり具合は非常に気になりますし、取り組みを進めていく上で無視できないのかなと思います。

また、質問の中にある「男女の地位」というのは、「地域社会での活動が平等か」ということを意味しているのでしょうか。アンケートではどのような質問と回答項目をとっていましたか。

(事務局)

実際にとったアンケートでの質問は「あなたは次の分野でどの程度男女平等になっていると思いますか。」とし、項目の「地域社会の中で」での回答項目としては「男性が優遇されている。」「どちらかといえば男性が優遇されている」「平等である」「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性が優遇されている」「わからない」としております。

(委員)

そういった質問であれば、少なくとも学校や家庭等では下がらず上がっていくような気がしていますが、結果下がっているのですね。

(委員)

先ほどと同じ数値についてですが、個人的にはこの数値が下がる方が望ましいのではないかなというように思います。例えば昨年のオリンピックでの森会長の発言が話題になるなど、日本では様々な場面でジェンダーの平等について知る機会があり、全国的にも非常に速い速度で、そういった理解が広まってきているように感じています。

一方で、この数字が下がっていくというのがどのような原因で下がっているのか。この「地域社会」はおそらく「文化的な」意味合いが大きいのかなと感じました。また、文化的な変化のスピードと世の中の理解のスピード、そのスピード差がこの数値に出てきているのかなと感じました。理解は広まっているが、ただそれに対して地域社会の文化的な変化や、市の制度や施策の運用面での理解や実施がどのくらい乖離しているかということが数字に表れていて、文化的な変化のスピードを考えていくことが、一つのポイントなのかなと感じました。

もう一点、同じく29ページ目標3「市審議会等の女性委員の割合」について、例えば市の制度やサービスを文言化して、極端に言えば、市の附属機関の審議会等の委員に「女性委員4割以上入れなければならない。4割以上を目指しましょう。」というような文言の整理だけで済むようなものであればどんどんスピードアップして進められるものもあるのではないかなと思いますので、そういったことについてもポイントで考えていけるのではないかなと思います。

(事務局)

ご意見のとおりかと思います。理解の部分が広まっているにも関わらず、その改善のスピード、例えば

市の制度や取り組みの部分について、スピードが足りないのかなというようなことを表し、この取り組みを加速していく必要があるということを表しているかと捉えています。

(委員長)

男女平等に関する意識が個人それぞれで高まってきているように感じています。だからこそ今、取り組みを加速する必要があるのだなというように改めて思いました。

次に、市審議会等の女性委員の割合がなかなか目標数値に達しないとのことですが、資料7ページでの問14女性委員の割合が40%未満である附属機関がまだ70%もあるということ。40%を超えない附属機関について何か特徴や分析について何かありますか。

(事務局)

委員への充て職であったりといった部分で、どうしても挙がってくる委員は男性が多いことと、男性委員だけでなく女性委員を入れていくといった認識自体は市の各部署も理解されていて、女性の委員をできるだけ入れていただくよう声かけもお願いをしているところですが、そこまで強くお願いできない部分もあったりして、なかなか一気に改善が進まないというところです。

(委員)

仕事柄、様々な委員会を知っていますが、確かに充て職でお願いするとほぼ100%男性の名前で出てきます。充て職の良さと女性委員を入れていく良さについて考えなければならないのかなと感じました。国でも実施している、極端に言うとクオータ制度を導入したりと参考にしたり見ていかないといけないのかなと思います。

(委員長)

今クオータ制度の話が出ましたが、そういったものを導入するというようなことはいかがでしょうか。

(事務局)

クオータ制度ができると目標にも早く達成しやすくなると思いますが、実施のハードルについてなかなか難しいところかなと思います。

(委員長)

今すぐにクオータ制度の導入などは難しいと思いますが、そういった意見が出たということ記録していただき、なかなか女性の委員が増えない附属機関へは工夫をしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【様式2号について質疑・意見交換】

(委員)

24ページ139番 防災に関する内容です。先日防災危機管理局へ行った時、正規職員で女性職員がいない、会計年度任用職員に女性1人だけということに驚きました。

防災に関する出前講座について女性が292人参加されたとのこと。熱心な自治会では毎年出前講座を行っていて、その中で女性の方も皆さん参加しましょうと、自治会で参加されたらその参加人数は達成できるので、これからは人数ではなくて、内容やどういった講座をしているか、ジェンダーの目線や女性目線での防災についてどのような内容で地域の方に発信されているかお聞きできればと思います。

(事務局)

一度、防災危機管理局の出前講座に参加し職員と話した時、講座の中では、男女共同参画や多様な視点での取り組みが重要であり、必要であることを伝えているということでした。

(委員長)

先ほどの委員の意見を聞いて驚きましたが、防災危機管理局の女性職員は0人でしょうか。

全国の防災・危機管理部局に配置されている女性職員比率を調べたところ、全国で女性職員が少ない中で、各都道府県別では滋賀県が2位で女性職員が多かったのですが、長浜市ではどうでしょうか。

(事務局)

ご意見のとおり女性職員については、正規職員0人 会計年度任用職員が1人います。

(委員)

市の防災備蓄品はローリングストックできていますか。ローリングストックしていただき、ローリングしたものは例えば大人用のオムツでしたら、福祉関係へ提供するなど活用方法があると思います。ただそういうことを女性が職員として入るか、会議に女性が入って建設的な意見を出していくことが必要だと思います。

市役所に人権施策推進課の職員もいますし、部署の横との繋がりで様々意見を取り入れていただくと、男性ではわからない視点も見えてくるので、そういった改善をしていただけたらありがたいなと思いました。

(委員)

私は初めて参加したので、資料の内容があまりわかってないのですが、190項目も取り組みがある中で、「全ての人々が互いに尊重し合う」といった目標があり、基本目標が4項目にそれぞれ分かれています。その中で何が一番問題だと思っていますか。その結果、何をすれば良くなりますか。例えば、目標1の項目では中ではこの項目が一番ボトルネックである、この項目に問題があって足を引っ張っているな、逆にこの項目は成果が出たためもうなくていい、など項目ごとに整理できる部分があると思います。施策全てを確認していたら議論する時間がなくなってしまいます。一番大事なことに人材とか時間を集中投下した方が正しい結果が出るのではないかと思います。そしてその評価の結果を伝えていただいた方が委員会での議論もできるのではないかなと思います。それぞれが意見を出し、全ての意見に対応していくのは大変だと思いますので、目標達成するためには何をすべきか、何が原因であり、何が足りないか、市や私たちが目を向けないといけないことは何か、ポイントや項目を絞って議論していく方がよいと思います。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり項目ごとに何が成果で何が足りてないか、どこにポイントを絞るのかというのは非常に大事になってくるところです。今日、項目ごと施策ごとにご説明をさせていただき、全体の基本目標の4つに合わせての整理というのは十分できていない部分があるので、そこは整理しながら、後で説明させていただきますが、これから新たな計画を作っていくことになります。

その時にそのあたり意識調査の結果なども含めて整理した上で、重点的にするものと目標を達成したのもうこれはやらなくてもいいな、次の課題に向けて動こうとの部分も整理しながら、事業の方を進めてまいりたいと思います。非常に良いご意見をいただきましたので、次の計画の方に生かせるように進めてまいりたいと思います。ありがとうございます。

(委員長)

重点項目はとても大事だと思いますので、そのあたりも後でお話いただければと思います。

それでは議事第2号の長浜市男女共同参画行動計画の進捗状況につきまして承認ということよろしいでしょうか。

～異議なし～

異議なしとして事務局でまとめた進捗管理の内容について承認したとさせていただきます。

(3)議事第3号 長浜市男女共同参画行動計画の改定について

・長浜市男女共同参画行動計画の骨子(案)および市民意識調査結果概要について事務局から説明
【計画の骨子(案)・市民意識調査について意見交換・質疑応答】

(委員長)

行動計画のどこかに「ジェンダー平等」を入れていただきたいと思います。ぜひご検討いただければと思います。例えば基本目標の1番、あるいは基本施策2番(2)多様性の理解のところに、「ジェンダー平等」の言葉を入れていただければと思います。

(委員)

行動計画の名称自体は「男女共同」といった名称を取らざるを得ないのもあるのかもしれないが、ジェンダーや多様性が言われている中で、いつまでも男女との2種類で分け続けるのではなく、例えば「ジェンダー」や「多様性」「一人ひとりみんな」といった言葉も入れ、文言整理を行い、この施策の計画上ではこのように言葉を使います、といった文言説明を計画の中のどこかで入れる必要があるかと思います。

(事務局)

おっしゃる通りだと思いますので、素案をまとめていく中で、丁寧に作っていききたいと思います。

(委員)

今期計画施策の個数が多く、全てで183施策あります。似たような事業もあります。多くの事業があって、まんべんなく色々なことをして意識を変えていきましようといった部分も理解できるが、かぶっているところがあるならばやめるなど整理していただけたらと思います。この施策の中で、結局何をすればどうなるか。というところが大きく変わらなければ、この男女共同参画の意識が変わらないと思います。

年代別で見るとやはり30・40代までは当然教育の結果もあって大きく意識が変化しています。男性も家事や育児をしています。意識が変わって分担してすることが当たり前になっています。やはり40代以上の男性の方、特に社会的地位のある方たちの意識を変えていかない限り、大きな社会での意識というのは変わりにくいと思います。教育でどんどん意識を変えて何十年かかったが、男女共同参画の意識が変わりましたといった評価で良いのであればこのままでもいいと思います。

しかし、この10年・5年以内に意識を変えていくのであれば、大きな具体的な数字を特化して、今期の重点的な課題としてやった方がいいと思います。例えば、認知度や割合などは個人の意識の問題になるため大きく変えることは難しいと思うが、市審議会の女性委員の割合をあげるために「充て職だからこそ女性にしてください」と、本気で女性の人数を増やそうと思っているのであれば、この数字は上がっていくのではないのでしょうか。審議会やそれぞれの現場で女性も増えれば「女性が長になってもいいんだ」といったように意識も変わり、女性が長になればその分その地域やそのコミュニティの意識も少しずつ変わっていくと思います。

(事務局)

男女共同参画を全体にあらゆる分野で進めていくため、市の各部署で取り組んでいることを網羅的に挙げさせていただいた部分があります。その辺は整理していききたいと思います。そして数字として現れるような形で改善すべき部分については改定の中で作っていききたいというように思っています。

(委員長)

やはり行政としてはまんべんなくやらなきゃいけない部分だと思います。そのためたくさんの施策があるのですが、これら多くの施策を抜くことはかえって危険で「やらなくていいんだ」となってしまう可能性があります。だからこそたくさんの施策の進捗状況を報告いただいているところです。ただ委員がおっしゃ

るとおり重点部分はあるべきだと思います。網羅的に行う部分と、重点を置いてポイントを押さえて説明いただくなど少し工夫していただければよいのかなと思います。

(委員)

パートナーシップの取り組みの方向としていろいろ書かれていますが、なかなかその結果がコミットできるところまでいかないことがおそらくほとんどだと思います。

例えば、「フレックスタイムを導入してください」などについては企業が判断することなので、行政から言っても結果につながるかどうかと思いました。

次に自治会などの参加について、参加したくない人の方が多いのではないのでしょうか。やり手がない自治会がほとんどで、男も女も含めて、基本みんなやりたくないという状態で促進しようとするのは違うと思います。今は共働き世帯も増えていて、会社でバリバリ働いて 19 時頃に帰ってきてから子供や家族のご飯作らなきゃいけなかったりする中で、女性も自治会活動に参加するような目標を立てること自体が適正に評価された本当の幸せな社会の状態とずれているのではないかなと思う部分があります。本当は自治会活動に女性は参加したい、けどできないという状況の中で、拳がっている目標なのかどうでしょうか。

(事務局)

自治会に対しては確かにそういう部分もあるのかなと思います。自治会自体の運営が行き詰まりを感じているといった意見も前回の委員会でも出ておりました。男女共同参画というだけの話ではないのかなと自治会については思っております。多様な意見の反映や持続可能な地域という意味でそれこそ女性にも入ってもらわないと成り立たない、回らないというような部分もあるのかなと思います。当課としては男女共同参画に関する取り組みを推進していますので、地域活動をする中で意思決定の場に女性も入ってほしいという趣旨があります。

(委員)

自治会の役割として女性が出ていくことも、それはそれで嬉しいですが、自治会の方向性や方針、それからまちづくりの意見などに対して、女性の意見がきちんと反映できるシステムを構築することが一番大切ではないかなというふうに思います。

(委員長)

地域の防災の時に女性の意見をどうやって集めていくかという部分で、やはり自治会の役割は大きく、そこに委員または役員に女性を入れるかどうかについてやはり重要だと思いますので引き続き取り組んでいただきたいと思います。

(委員)

37 ページの地域社会活動の参画については、市民まちづくり計画の中にも同じようなアンケート項目があるかと思います。そちらの方では「あなたはどのような形でこういう地域活動に参画したいですか」と役割を聞いているものがあります。まずは機会があるのかどうかで、機会があつて、結果、平等なのか不平等かどうかというのが大きく分かれているポイントなのかなと思いますので、例えばここに挙げるような質問が今度ありましたら「あなたは、地域社会に参画する機会が平等だと思いますか」といった聞き方がいいのではないかなと思います。

(委員)

29 ページの表の数値についてです。これは目標が高すぎるのか、その目標に達成するまでにまだ施策が行き届いていないのか。その辺はどのようにお考えでしょうか。

(事務局)

目標は確かに高く設定している部分も一部あると思いますが、なかなかこの5年間で思うように改善していない、進まなかった部分もあります。

(委員長)

例えば待機児童の数だと本来0人であるべきなので、10人が15人に増え、結果は未達成だが、目標には近づきたいという気持ちはやはり皆さんも同じだと思いますので、目標を高く掲げるというのはいいのかなと思います。

(委員)

近年長浜市で「重層的支援体制」という新たな言葉を提示しました。重層的支援体制は、「男性と女性だけでなく、障害がある人ない人、皆がみんなを支えていかないと、この社会は成り立っていない」という警告を意味した言葉だと私は理解しています。

もう男女共同参画だけでなく、女性も男性もみんな同じ市民です。しかしその中で今までの慣例上、女性がやはり弱い立場にあるということが残っています。

今回こういった会議を持ったということで、長浜市の施策の方向をここで大きく私達がこの会議で出していけば施策を担当される方も進めやすいし、視点を持っていきやすい。重点的なことや様々な視点でこれまでの社会を変えていきましょう。

(委員長)

様々なファクターがありますが、この会議は男女平等について考えるところですので、ぜひ進めていただければと思います。引き続き長浜市男女共同参画行動計画の体系について作成していただきたいと思います。次回ご説明いただきたいと思います。

(事務局)

次回の委員会は7月に開催予定です。よろしくお願いいたします。

5. 閉会